

## 新たに開花結実した温室植物

磯部 実, 飯塚康博・柴田昌男・大寄 忠

### パキラ

#### *Pachira aquatica*

1976年の開園当初から大温室に植栽していた個体で、現在目通り幹周30cm, 樹高10mに生長している。

この個体は、開花はこれまでに数回見られたが、結実したのは今回が初めてであった。1993年1月から4月にかけて5個の花を咲かせ、5月初め3個の果実をつけた。花および果実の特徴は次のようであった。花弁は長さ15cm, 幅2cm



写真1. *Pachira aquatica*の花



写真2. *Pachira aquatica*の果実

### エキウム シンプレックス

#### *Echium simplex*

1991年9月に播種し、発芽した苗を鉢で栽培し、1992年の秋にサボテン温室に定植した。

1993年1月下旬に抽台を始め、3月下旬には草丈は120cm, 花序の長さは65cmになり開花し始め、4月中旬に満開となった(写真3)。花は円錐形の複穂状花序に無数につき、1小花梗あたり



写真3. *Echium simplex*の花

平均10個ずつ咲いた。花は白色で直径約5mm, 雌雄ずいが花冠の外に出て目立った。開花後種子を採り、10月に播種したところ約50%の発芽率で多くの実生苗を

得ることができた。

また1992年の春、サボテン温室に定植した株は、草丈約2mになっているが1993年12月まで開花に至っていない。

### カランコエ ガストニスーボンニエリ

#### *Kalanchoe gastonis-bonnierii*

本種はサボテン温室に1984年に植栽され、1度開花が見られたが、明確な開花記録は残っていない。数年間は開花を見なかったが1993年の冬に2個体が開花したので記録する。

本種はマダガスカル原産。草丈は約80cmに生長し、葉は対生し披針形、長さ25cm, 幅8cm, 緑白色地に茶褐色の縞斑が入り、葉の先端に不定芽を作る。開花後期には葉は枯死する。サボテン温室に植栽している2個体は、それぞれに花序を伸ばし、散房花序に約100個の花を下向きにつけた。萼片の長さは20mmで、花冠は筒状で長さ50mm, 直径20mmで先端は4裂する。花色は黄緑色で、周縁部は淡紅色。開花期は12月上旬から1月下旬で、約2か月間開花した。ベンケイソウ科のコーナーでは花が大きく目立つので、入園者の目を引いた。